

社会资本総合整備計画（改定案）

社会資本総合整備計画

平成28年3月16日

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上	重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象
計画の目標	豊島区	

地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。
池袋駅周辺地域は、平成27年7月に特定都市再生緊急整備地域の指定を受けたことを契機として民間都市再生事業の機運が高まっている。平成28年7月には、地域の民間事業者に国、都、区を加えた委員会により、地域のまちづくりの将来像を示す「まちづくりガイドライン」を策定した。

今後は公民が連携し、都市再生を推進するとともに、都市基盤の再編整備を進め、都市の快適性と魅力を高めていく。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を 360台(H27) から 300台(H32) まで減少(△20%)する。
 - ・「池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる」と考える区民の割合を23.6%(H26) から29.0% (H32) まで高める。

定量的指標の定義及び算定式	駅周辺における放置自転車台数を把握する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考			
		当初現況値	中間目標値	最終目標値				
	(H28当初) H27集計) 360台	(H30末) (H30集計) 320台	(H32末) (H32集計) 300台					
	(H26集計) 23. 60%	(H28集計) 26. 30%	(H32集計) 29. 00%					
全体事業費	合計 (A + B + C + D)	14,439 百万円	A 14,313 百万円	B 0 百万円	C 126 百万円	D 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0.873%

交付対象事業

A 基幹事業

B 関連社会資本整備事業（該当なし）

C 効果促進事業

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	実証実験を実施することにより、事業効果を検証するとともに地元関係者の意識啓発を図り、公共空間と周辺施設と一緒にぎわいを創出する。	

D 社會資本整備田地化地籍整備事業

社会資本総合整備計画

社会資本総合整備計画

計画の名称	鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上	重点配分対象の該当
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象
計画の目標		豊島区

地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。

池袋駅周辺地域は、平成27年7月に特定都市再生緊急整備地域の指定を受けたことを機契として民間都市再生事業の機運が高まっている。平成28年7月には、地域の民間事業者に国、都、区を加えた委員会により、地域のまちづくりの将来像を示す「まちづくりガイドライン」を策定した。

今後は公民が連携し、都市再生を推進するとともに、都市基盤の再編整備を進め、都市の快適性と魅力を高めていく。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を 360台(H27) から 300台(H32) まで減少(△20%)する。
 - ・「池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる」と考える区民の割合を23.6%(H26) から29.0% (H32) まで高める。

交付対象事業

A 基幹事業

B 關連社會資本整備事業（該當なし）

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (延長・面積等)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万元)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
														合計	0		

C 効果促進事業

番号 一体的に実施することにより期待される効果

審査実験室を実施することにより期待される効果

D. 社会資本整備田地化地籍整備事業

社会资本総合整備計画

令和元年 12月11日

計画の名称	鉄道駅を中心とした地域拠点における都市環境の向上										重点配分対象の該当											
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)					交付対象	豊島区															
地域の拠点となる鉄道駅及び駅周辺において、安全性と利便性を備えた快適な歩行者空間を整備することにより、賑わいと魅力が街中へと広がる都市環境を創出する。 池袋駅周辺地区は、平成27年7月に特定都市再生緊急整備地域の指定を受けたことを契機として民間都市再生事業の機運が高まっている。平成28年7月には、地域の民間事業者に国、都、区を加えた委員会により、地域のまちづくりの将来像を示す「まちづくりガイドライン」を策定した。 今後は公が連携し、都市再生を推進するとともに、都市基盤の再編整備を進め、都市の快適性と魅力を高めていく。																						
計画の成果目標(定量的指標)																						
<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場整備を進め、放置自転車数を360台(H27)から300台(H32)まで減少(△20%)する。 「池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる」と考える区民の割合を23.6%(H26)から29.0%(H32)まで高める。 																						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値																		
駅周辺における放置自転車台数を把握する。				当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考															
区民意識調査の調査結果を把握する。				(H28当初)	(H30末)	(H32末)																
全体事業費	合計(A+B+C+D)	12,017百万円	A	11,891百万円	B	0百万円	C	126百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	1.049%										
交付対象事業																						
A 基幹事業			事業実施期間(年度)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	H32									
A-1	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	大塚駅地区 都市・地域交通戦略推進事業	自転車駐車場 約700台	豊島区														
A-2	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区 都市・地域交通戦略推進事業	自由通路(南デッキ 延長:約380m、幅員:約15m)	豊島区														
A-3	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区 都市・地域交通戦略推進事業	自由通路(北デッキ:約100m、幅員:約25m)	豊島区														
A-4	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区 都市・地域交通戦略推進事業	駐車場地域ルール策定	豊島区														
A-5	住宅	一般	豊島区	間接	鉄道事業者	池袋駅周辺地区 バリアフリー環境整備促進事業	東口エレベータ整備 1機	豊島区														
A-6	住宅	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区 バリアフリー環境整備促進事業	バリアフリー基本構想改定	豊島区														
合計										11,891												
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	H32									
合計										0												
C 効果促進事業			事業実施期間(年度)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	H28	H29	H30	H31	H32									
C-1	交通	一般	豊島区	直接	豊島区	池袋駅周辺地区 都市・地域交通戦略推進事業	交通戦略実証実験	豊島区														
合計										126												
番号	一體的に実施することにより期待される効果										備考											
C-1	実証実験を実施することにより、事業効果を検証するとともに地元関係者の意識啓発を図り、公共空間と周辺施設と一体となったにぎわいを創出する。																					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	H28	H29	H30	H31	H32									